

- ★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
- ★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円～にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
- ★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
- ★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。

食はいのち
Coop Joso

News Letter

2022年8月5回号 発行:常総生協広報G



2022-23年度活動テーマ(案)「つくと食べるでつながろう ～私たちの地産地消～」

今年の生協まつりは11/5(土)！ 「対面開催」で準備をしています！



7月29日(水)に開催された2022年度第3回理事会にて、生協まつりは11/5(土)に決定しました。「新型コロナウイルス」の感染は収まっていないものの、感染防止対策をおこなったうえで「対面開催」で準備を進めていきたいと思っております。開催内容、イベント等が決まりましたら、随時お伝えしてまいります！

※写真は過去の「生協まつり」の様子

日時：2022年11月5日(土)

開催場所：常総生協 本部 1F前駐車スペース 住所：茨城県守谷市本町281

生産者出店数：24～27ブース程度(コロナ前よりは出店数を縮小します)

～生協まつり実行委員＆サポーターを募集します～

「対面開催」に伴い、生協まつり実行委員＆サポーター(簡単な作業のお手伝い)を募集します！コロナ前よりは縮小したイベントになる予定ですが、制約がある中でも安心して楽しめる生協まつりにする企画を一緒に考えませんか？

申込は→QRコード、または今週配布しております「募集のお知らせ」をご覧ください！

2022年生協まつり実行委員＆サポーター募集



2022年生協まつり実行委員＆サポーター募集

理事会よもやま通信

発行 常総生活協同組合理事会
TEL0297-48-4911
FAX0297-45-6675

常総生協はみんなの「ほしい！食べたい！知りたい！」を応援します

大豆プロジェクトⅡ【播種編】 〜ダニエル有機農園より〜

二年目を迎えた大豆プロジェクト。昨年に引き続き、ダニエル有機農園さんにもご協力いただいています。昨年は、ダニエルさんにとって「大豆は初めて」ということで、圃場を見せていただくだけでしたが、今年度は、ほかの生産者と同じく、播種、除草、収穫などに関わらせていただくことになりました。

ダニエル有機農園は石岡市の八郷総合運動公園の近くにあります。住んでいる方々に「みつばやま」と呼ばれており、ダニエル家もこの山の中にもあり、自然豊かな山林の中腹に大豆畑を用意して待っていてくださいました。その広さは昨年の二倍!! 昨年の畝間80cmでしたが、除草や大豆の育ち具合、収量などから、総合的に判断し、今年度は50cmにします、とのこと。

(かなり攻めます…)とダニエルさん談) さっそく、作業開始です。まずは畑の両端に50cm間隔で棒を立て、まっすぐに糸を張ります。次に手押し式の播種機を使い、糸に沿って端から端まで進みます。この作業を35度の猛暑の中、参加者とダニエルさんとで、リレー形式で行いました。

35畝中、22畝でダニエルストップ。慣れてきたところでしたが、作業を終了することにしました。
(若干、心残り…)



一時間ほどの作業でしたが、炎天下で、しかも日陰のない畑作業に体力の限界を感じました。ダニエルさんは朝、セミや鳥の声とともに起きて作業をするそうで、「体が慣れているから、残りは大丈夫」とヘタレの私たちを気遣ってくださいました。そして、今回の大豆は、昨年、ダニエルさんが育てた大豆だそうで、芽が出るのが楽しみです。

今回は、播種から三週間後の八月二十一日(日)の朝八時より、除草作業をする予定です。降水状況にもよりますが、すぐに生えてくる雑草をなるべく早めに除草作業します。少し早い時間ですが、皆様のご参加をお待ちしております。

〈ダニエル有機農園の紹介〉

オランダ出身のダニエルさんは、子どもたちに大切なこと(環境や食)を知ってもらいたい思いから、教師をしていましたが、農家に転向し、今に至ります。



今回の大豆畑の状況、緑肥の作り方など、わかりやすく説明してくださいました(茨城弁ではなかったですw)。お父様と一緒に建てた、木のぬくもりを感じるご自宅は、夏でも窓を開けて寝ているそうで、環境にも優しい方です(扇風機は使いますが、だそうです)。有機農業研修時代の仲間や諸先輩方の教えを参考に、常に試行錯誤しながら農業に取り組む姿に触れ、信頼できる生産者さんとの出会い、つながりに感謝した一日でした。(増本)



常総生協が好きだー!

『理事会よもやま通信』へのご意見・ご感想は、OCR用紙の「意見・要望・連絡欄」、ネット注文の方は「ご意見のページ」にご記入をお願いいたします。

【大豆プロジェクト 援農募集】生産者と一緒に除草作業

全て大豆の種まきを終わりました。これから除草の時期に差し掛かります。無農薬栽培、有機栽培で欠かせない除草作業をお手伝いしましょう！

①ダニエル有機農園さん

■日時：8月21日（日）8：00～9：30

■集合場所：八郷総合運動公園（石岡市野田600）7:45集合

*雨天延期、小雨決行。

*雨天時の延期のお知らせは当日朝7時頃に電話で連絡いたします。

■申込〆切：8月17日(水)迄

※8/15・16は生協がお休み、変則供給などがあるため、QRコードもしくは営業日に直接生協へお問合せください。



②アグリ古柿土 横瀬さん

■日時：9月1日（木）9：00～10：30

■集合場所：守谷市野木崎1851

*雨天延期、小雨決行。

*雨天時の延期のお知らせは当日朝8時頃に電話で連絡いたします。

■申込〆切：8月26日(金)迄



内容：大豆畑の除草

参加費：無料

用意：マスク、帽子、長靴、軍手、タオル、着替え、飲み物

※参加当日は検温の御協力をお願いします。

※定員人数：各10名まで(超えてしまった場合は抽選となります)

※こちらのQRコードからも応募ができます。→→

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、状況に応じて中止となる場合がございます。何卒ご理解のほど よろしくをお願いします。



～「大豆プロジェクト」とは？～

農産物の国内自給率の低下、農薬や遺伝子組み換え—常総生協が掲げる「食はいのち」という理念がおびやかされている中、農薬無散布・化学肥料不使用の「大豆」を地場の生産者の協力をいただき、私たちもお手伝い・交流を深めていながら作っていくプロジェクトです。

昨年は7月から「大豆」としてお披露目する翌年1月までの約半年間、種まき・除草、選別などに関わりました。各生産者の大豆を合わせて約660kg収穫され、主に「みそ作り大豆」として商品化しました。今年も地場の「大豆」を一緒にひろげていきましょう！



きりとり

大豆プロジェクト 除草作業に参加します。

★参加する企画に○をつけてください。

①ダニエル有機農園 8/21(日)8:00～

②アグリ古柿土(横瀬さん) 9/1(木)9:00～

組員番号： _____ コース名： _____

組員氏名： _____ 参加人数： _____

ご不明な点がございましたら、生協本部までお問合せください。0297-48-4911(担当：小宮山)

**7月20日（水）日本原電に「東海第二原発の廃炉を求める申入書」を提出。
茨城県に「再稼働不同意の要望書」を出しました。**



「東海第二原発を運転してはならない」という水戸地裁判決をきっかけに昨年5月、茨城・千葉・東京の市民団体が中心となり、関東全域の市民団体や個人が繋がって「東海第2原発いらない！首都圏ネットワーク」ができました。このネットワークが、7月20日（水）の朝10時に秋葉原の日本原子力発電株式会社へ（以降日本原電）、午後1時半に茨城県庁にて大井川和彦県知事に宛てて、それぞれ申入書、要望書を提出しました。常総生協も賛同団体・問い合わせ窓口として協力しています。生協の組合員活動である

「脱原発と暮らし見直し委員会」も今回は委員会単独で賛同団体となっていて、全95団体+120名の個人の賛同を得ています。

日本原電宛の申入書では廃炉の決断を強く求め『「東海第二原発の再稼働はやめる、今後は廃炉に向けて処理をしていくことに集中する」と宣言してください』としており、知事宛の要望書では『茨城県は、県民及び首都圏を中心とする住民の安全を鑑み、東海第二原発の再稼働に同意しないこと』を要望しました。県庁での様子は翌日の茨城新聞と東京新聞茨城版にも掲載されました。

東海第二原発の再稼働に不安を感じているのは原発周辺や茨城県の住民だけではありません。実際に重大事故が起こってしまったら、広範囲にわたって被害を受けることを、私たちも福島原発の事故で身をもって経験しています。常総生協の供給エリアは福島原発から200kmほど離れていても放射性物質を含む大気に覆われ、それらを含む雨が降ったために土壌も空気も汚染されてしまったことは事実です。

今後も東海第二原発の廃炉を目指し、放射能に怯える事のない安心した暮らしを取り戻すために努力していきます。

7月より配達料を導入しています

この間、放射能情報掲載しているチラシにお知らせを掲載していましたが、あまり目に止まらない事もあり、再度お知らせを致します。

共同購入の収益性はこの10年間厳しい状況の中で経営してきました。この間、資材費の値上がりや、最低賃金の改定に伴う人件費の高騰、「働き方改革関連法」の施行で職場環境の整備に取り組む中で、膨らむ経費をなんとか吸収してきましたが、年々高騰する物流コスト、ガソリン代の高騰によって、現在の体制では事業・活動の維持・発展は難しい状況となっています。

今後も増える経費の支出、生協職員の人材確保、教育の視点から、**6月の総代会の議案議決承認を経て、組合員の皆さんに7月より配達手数料の導入をしています。**

○配達手数料導入のルール

- 毎回商品のお届けがあった時に発生します。
 - 個人配達→100円+税
 - グループ（班）配達→50円+税/1人
 - ST（ステーション）利用の方は配達手数料はかかりません。
- 毎週お届け明細書へ掲載します。
- 月末の請求書にてご請求します。

組合員の皆様のご理解とご協力を、何卒よろしくお願い致します。（専務理事：伊藤）